

# 実績評価書(案)

資料1-1

(厚生労働省26(I-3-1))

施策目標名	医療情報化の体制整備の普及を推進すること(施策目標 I-3-1)									
施策の概要	本施策は、次の目標を柱に実施している。 ・医療のIT化を推進する。 ・医療の情報連携を可能にするための環境整備として、データ標準化等を推進する。									
施策の背景・枠組み (根拠法令、政府決定、 関連計画等)	医療の情報化については、平成18年1月に高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(以下「IT戦略本部」という。)において「IT新改革戦略」が具体的な政策として掲げられ、平成22年5月には「新たな情報通信技術戦略」で「どこでもMY病院構想の実現」などの具体的取り組みが示され、これらの実現に向けた施策の推進に努めてきたところ。さらに、平成25年6月に「世界最先端IT国家創造宣言」が閣議決定され、2018年度までにITを活用した医療情報連携ネットワークの全国への普及・展開を図ることなどが定められたことを踏まえ、更なる施策の推進を図る。									
施策の予算額・執行額等	区分	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求額			
	予算の 状況 (千円)	当初予算(a)	1,208,092	1,873,230	846,241	814,642	603,522	—		
		補正予算(b)	—	-296,133	150,801	1,297,557	—			
		繰越し等(c)	—	—	-134,503	-1,163,054	1,297,557			
		合計(a+b+c)	1,208,092	1,577,097	862,539	949,145	1,901,079			
執行額(千円、d)	1,169,163	1,553,740	837,406	888,436						
執行率(%、d/(a+b+c))	96.8%	98.5%	97.1%	93.6%						
関連税制										
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称	年月日		関係部分(概要・記載箇所)						
	「世界最先端IT国家創造宣言」	2013年6月14日		2. 健康で安心して快適に生活できる、世界一安全で災害に強い社会 (1)適切な地域医療・介護等の提供、健康増進等を通じた健康長寿社会の実現						
測定指標	指標1 統合系医療情報システム(オーダリングシステム、統合的電子カルテ等)の普及率	指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠								
		・医療情報連携ネットワークを普及・展開するため、その基盤となる医療情報システムの普及率を指標とする。 ・医療情報システムの普及状況を知る上での指標に、厚生労働省大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課保健統計室が行っている「医療施設調査」を利用する。 ・基準年度及び基準値は、前回調査年度である平成23年度とする。 ・目標年度は当該調査が3年ごとの調査であることから平成26年度とし、目標値は、まずは普及率が伸びていることを確認するため、前回調査時の実績以上とする。								
		基準値	実績値					目標値	主要な指標	達成
		23年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	26年度	○	(△)
年度ごとの目標値	39.3%	—	39.3%	—	—	集中中	39.3%			
測定指標	指標2 電子処方箋の実現に向けた必要な法令等の検討・見直しに向けた実証作業	指標の選定理由及び目標値(水準・目標年度)の設定の根拠								
		・電子処方箋については、医療機関と薬局の間で情報連携が進み、調剤結果の医療機関へのフィードバックや、疑義照会・回答といったやりとり、過去の記録の参照などが容易になるといったメリットがあることから、電子処方箋の導入について、有識者等の意見も聞きつつ、検討を行っているところ。電子処方箋を実現するためには、運用のためのガイドラインが必要であるため指標として選定した。								
		基準値	実績値					目標値	主要な指標	達成
		23年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	○	△
年度ごとの目標値	—	—	—	—	—	集中中	—			
【参考】指標3 統合系医療情報システム(オーダリングシステム、統合的電子カルテ等)の普及率(一般病院400床以上)	実績値									
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	集中中				
年度ごとの目標値	—	86.6%	—	—	—	集中中				

※22年度及び23年度は第2期基本計画期間、24年度から26年度は第3期基本計画期間である。

評価結果と 今後の方向性	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分)③
	総合判定	(判定結果)B  (判定理由)平成26年度の医療施設調査の結果は集計中であり、また、当該調査は3年に1度のものであるため、直近の達成率が把握できていないところがあるが、医療情報システムを基盤とする医療情報連携ネットワークの構築数が平成24年度の約160から平成26年度の約200へと増加していることから、統合系医療情報システムの普及率も向上している。また、電子処方箋を実現するため、有識者等の意見を聞きつつ、ガイドラインの検討を進めたことから、「B(達成に向けて進展あり)」と判断した。
		施策の分析
	(効率性の評価) 【指標1】 医療の情報化については、平成24年度と比較して、当初予算で約12億円削減しているが、目標値達成に向けて順調に推移していると見込まれることから効率的な取組が行われていると評価できる。 【指標2】 平成24年度及び平成25年度に実施された実証事業の成果を踏まえ、医療情報ネットワーク基盤検討会等でガイドラインに関する議論を行っており、効率的な取組が行われていると評価できる。	
	(現状分析) 統合系医療情報システムの普及が進んでいると考えられることから、地域の医療情報連携は着実に実施されてきているものと考えられるものの、医療機関間の情報の共有については、標準的な規格の普及がまだ不十分であり、より一層効果的・効率的な実施を目指して、施策の見直しが必要である。	
次期目標等への 反映の方向性	(施策及び測定指標の見直しについて) 次年度に向けて、医療情報連携ネットワークの構築に関する取組を強化する。  (予算要求について) 以下の□で困んだ方向で検討します。 増額／現状維持／シーリングによる減額／見直しによる減額  (税制改正要望について)  (機構・定員について)	

学識経験を有する者の知見の活用	
-----------------	--

参考・関連資料等	<p>世界最先端IT国家創造宣言 <a href="https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/20150630/siryou1.pdf">https://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/kettei/pdf/20150630/siryou1.pdf</a></p> <p>医療施設調査 <a href="http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/11/">http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/iryosd/11/</a></p> <p>関連事業の行政事業レビューシート <a href="http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2014/h25_1-3-1_saisyu.html">http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2014/h25_1-3-1_saisyu.html</a></p> <p><a href="http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2014/h27_1-3-1.html">http://www.mhlw.go.jp/jigyo_shiwake/gyousei_review_sheet/2014/h27_1-3-1.html</a></p>
----------	---

担当部局名	医政局、政策統括官 (社会保障担当)	作成責任者名	医療技術情報推進室長 片岡 種、情報政策担当参事官 鯨井 佳則	政策評価実施時期	平成27年6月
-------	-----------------------	--------	---------------------------------------	----------	---------